９月１１日に栃木県議会池田議長への要望活動を行い、とちぎ自民党県連主催の「政策懇談会」に出席しました。

当連合会や会員校が抱える課題の改善に向けて、昨年初めて知事への要望書提出に合わせて、栃木県議会議長にも支援を求める要望書をしましたが、今年度も理事会で要望項目をとりまとめた上で、石川理事長はじめ役員等４名が９月１１日（木）に栃木県議会を訪問し、池田　忠議長に要望書を手渡し、県への要望事項について説明し、実現に向けた支援をお願いしました。（要望内容は、９／８の知事要望の記事でご確認ください。）

池田議長（右）に
要望書を手渡す石川理事長（左）

要望活動に参加した
羽山理事（左端）、羽井野理事代理（右端）

池田議長からは、「補助金については、段階的に改善していけるよう、私もしっかり受け止め、要望の窓口である『とちぎ自民党政策調査会』とともに、予算化に向けた県執行部とのやり取りの中で要望に応えられるよう努力したい。」との心強いお話をいただきました。

その後、ニューみくらで開催された、自民党栃木県連・議員会政調会主催の「政策懇談会」に出席し、佐藤　良政調会長をはじめ文教･警察部会等の県会議員の先生に、石川理事長が当連合会の要望事項について説明し、支援をお願いしました。